

福總新聞

(毎月) 廿二回
 定價 一紙十錢 壹月廿錢
 廣告料 雜報欄五十錢
 發行所 福總新聞社
 市島 範三

ハリスク
 局藥邊野山
 目丁五町平

東北の靈場関伽井嶽

例祭には徹夜満山人を以て立錐の余地なき賑へ

赤井嶽薬師堂は水晶山玉藏院常福寺の管理する所、新義真言宗智山派別格本山で住職旭純榮師は奉職四十年、同管長に推され京都の大本山智積院に智山派統師の最大權威の重職に就かれたが薬師如來の例祭に大僧正として初めて臨まれること、て奉賽の人の數は又近年に利なることであらう。

開創

凡そ我國到處の寺院中、祈願を凝らしたるに靈驗空培伽井嶽を造營して一寺を創する者、名古刹には何處に於ても、其の地に安んずるに至るに、其の地を以て、大僧正として初めて臨まれること、て奉賽の人の數は又近年に利なることであらう。

中興以前

中興以前、赤井嶽の歴史は、その地を以て、大僧正として初めて臨まれること、て奉賽の人の數は又近年に利なることであらう。

中興以後

中興以後、赤井嶽の歴史は、その地を以て、大僧正として初めて臨まれること、て奉賽の人の數は又近年に利なることであらう。

明治時代

明治時代、赤井嶽の歴史は、その地を以て、大僧正として初めて臨まれること、て奉賽の人の數は又近年に利なることであらう。

累代座次

累代座次、赤井嶽の歴史は、その地を以て、大僧正として初めて臨まれること、て奉賽の人の數は又近年に利なることであらう。

赤井村長 根本忠松	赤井村役 吉田豊	赤井村収入役 失野誠一	外役場吏員 品川白煉瓦株式會社	赤井礦業所 小田炭礦株式會社	筒井兼治	消防組頭 矢野達	赤井村 古市喜三郎	赤井第一尋常高等小學校 校長 安藤力	赤井第二尋常高等小學校 校長 石橋儀作	赤井村會議員 赤井甚二郎	赤井村會議員 鈴木仙次郎	赤井村會議員 柴崎治雄	赤井村會議員 田久彌七	赤井村會議員 高木綱次	赤井村會議員 草野三郎	赤井村會議員 矢野采女	赤井村會議員 羽賀政雄	赤井村會議員 鈴木隆衛	赤井村會議員 大角金藏	赤井村會議員 鈴木義晴	赤井村會議員 菊地徳太郎	赤井村會議員 吉田佐内	赤井村會議員 岡村俊太郎
--------------	-------------	----------------	--------------------	-------------------	------	-------------	--------------	-----------------------	------------------------	-----------------	-----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	-----------------	----------------	-----------------

秋山時計店
 時計 輪指 鏡眼
 平町有聲座向
 一に努力
 一に經濟
 アキヤマ

名所

一、公園地 公園地は本堂の東方觀燈亭に通ずる道路の上下にあり上なるを一號公園と稱し下なるを二號公園と呼ぶ地城一萬數千坪天然の風光に添ふるに人工を以てして天を摩するの巨杉あり地に蟠るの老松あり奇岩怪石突兀として隨處に時ち配するに觀賞樹を以てす四時の眺望開雅幽艶眞に山上の勝景たるに背かず文人墨客の杖を曳くもの漸く多きを加ふ。

二、胎内潜り 胎内潜りは觀燈亭の上方古峰神社の前面に在り巨石左右より抱合し間隙一尺數寸中を潜り得るを以て此の名あり右方の石は長さ一丈三尺横中九尺厚さ三尺餘左方の石は高さ一丈餘巾七尺餘長さ一丈三尺なり此石の南面に古人の文を勒されたるも文字磨滅して水蒸の跡たるに由なし。

三、燕石 本堂を相距る一丁許觀燈亭の北懸崖の邊に在り長さ五間餘高さ一丈餘巾八尺餘の巨石にして形燕の將に飛ぶんとすの狀に似たり故に此名あり此石上に坐して龍燈を觀るに適當す。

四、龍燈 當山は古來「龍燈藥師」と稱す點々たる燈火毎夜四ツ倉海上より夏井川を溯りて當山に達す口碑に依れば是れ龍神燈を獻ぐるなりと毎秋八九月の頃最も壯觀を呈す委しくは第四編神林復所の水晶山記を見るべし。

五、文珠石 觀燈亭に通ずる道路の左側にあり高さ十六尺にして劈痕を存す嘉永年中石工此石を割らむとせしに其夜雷てい甚しく鳴動せしかば翌朝往いて之を檢せらるに不思議なる哉文珠菩薩の像歴然と示現せり因つて割ることを止む此石いに登りて雨乞の祈禱をなすま猶ほ存し山中の奇跡と稱せらる。

六、瀧不動の瀑布 瀑布は本堂を距ること南方數丁天狗澤に在り水勢甚だ大ならざるも二十餘尺の瀑布にして千じゆんの懸崖より急轉直下銀玉碎け水霧散するの狀、壯觀譽ふるに物なし左側の斷崖には不動明王及藥師如來の石像を安す傍に小庵あり庵中亦た不動尊を祀る行者常に住みて斷食水行等の信者を保護す。

七、濡佛 本堂の庭園に在り臺は二間四方にして御崗石を三段に疊み上げ高さ四尺なり佛體は座像にして御丈六尺三寸青銅を以て鑄造す華座は開敷蓮華伏蓮華同じく青銅を以て作る武州江戸神田住横塚播磨大塚藤原重正同苗嘉右工門作と刻せり。

寶物

一、佛舍利 佛舍利は水晶の五輪塔の中に藏め朝暮禮拜舍利經を讀誦する時は其形大となり且つ増量す息する時は其形小となり其量また減すと傳ふ當山の佛舍利は形豆大にして瑠璃色なり佛舍利相傳の狀に曰く。佛舍利相傳の狀に曰く。夫佛舍利者非世寶之所比也故欲得之亦難哉、若一瞻一禮者則其福德感應無量無邊也、方今授與者後醍醐天皇、後光嚴法皇并有崇信而納于東山眞如堂之分其一顆量如胡豆其色如瑠璃甚可貴哉、幸恭敬供養莫忽語。

二、大黒天 弘法大師の御作當山庫裏中に奉安す。

三、雨乞の龍 雨乞龍は奥の院内に藏す此龍は雨を祈るの時祭壇に移安し獨古水をくみて洒水加持を行へば必ず靈驗ありかんばつ子の松月堂なりと好評。

電話番號變更廣告

十一日から電話番號左の如く變更いたしました

二八五番 白馬ノ雪醸造元 平窪村辰ノ口本家 松本 徳一

八二番 片倉磐城製糸株式會社

七六番 東部電力平營業所

一七六番 高階 一郎

五二九番 萩原 申八

澤渡組頭更迭

石城郡澤渡村消防組頭平山藤吉氏は過般辭任したので佐藤清司氏が就任した。

内郷村助役の再選

金澤爲喜氏

内郷村役場内に於て去る廿日の村會にて金澤爲喜氏再選せり。

名菓子の松月堂

菓子のお舗松月堂は平町の代表的商店である。店主金子重次氏は温健圓滿の紳士にして、親切第一主義を「モット」として常に最新なる珍菓の製造を研究し松月堂の菓子に非ざれば上流社會の家庭にて用ひざる程の好評を博して即ち優良なる菓子の松月堂なりと好評。

金燈籠 銅像 ぼん鐘

平七丁目 工藤鑄造所 工藤源吉

野村醫院 科婦人科 科小兒科 科一般

野村醫院 村野廣郡葉双

静岡本場 小笠銘茶 大角茶舗

平町搔槌小路 (菊地自動車店)前

警報セメント特約販賣店 和洋銅鐵金物問屋

釜屋商店

平町五丁目 電話九番 九九番

赤井間乗合・貸切 若松自動車部

停留所 平町搔槌小路 電話(呼出)三五番

藤市蒲鉾店

電話三〇五番

蒲鉾 ひとつまあげ 賣出開始

例年の通り御下命御ひいきに預り度く願ひ上げます 平町三丁目

共濟病院 城警

本院は時局に鑑み八月一日より入院料並に往診料左の通り低減致候間御參考迄申上候

入院料 一日 金二圓也 本會員 金一圓五十錢也 往診料 院長及び其他 本會員 金三圓也 一般 金二圓也

本院 賀澤忠治 衛生試驗場 病氣相談所 救療所 病内 救療申込まるゝお方は當相談所へ御話し下さい。 昭和五年九月

越の家

電話三三番

御料理

磐城共濟會 (看護婦募集) 平町電話番

越の家

電話三三番

御料理

磐城共濟會 (看護婦募集) 平町電話番